

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

Vol. 30, No. 11 ACTA UROLOGICA JAPONICA November 1984

泌尿器科紀要

第30巻 第11号 1984年11月

第33回泌尿器科中部連合総会 シンポジウムⅡ	
自家腎移植の適応とその手術成績 司会のことば	岡島英五郎…1531
自家腎移植術の適応とその手術成績:	
腎血管性病変に対する自家腎移植術について	高羽 津・ほか…1533
尿管病変に対する自家腎移植 —その適応と手術成績—	鈴木 和雄・ほか…1543
腎結石に対する体外手術の適応について	大島 伸一・ほか…1551
自家腎移植の腫瘍および結石への適応	大澤 炯・ほか…1557
自家腎移植の経験	平尾 佳彦・ほか…1565
感染結石の構築—とくに核部構築について—	
泌尿器科領域におけるリンパ節	竹内 秀雄・ほか…1579
シンチグラフィの有効性に関する臨床検討	
Testicular Lymphangiography による	佐藤 孝充・ほか…1589
睾丸腫瘍の後腹膜リンパ節転移の診断	高崎 登・ほか…1599
尿路性器腫瘍患者におけるポリエチレングリコール沈降物補体	
消費試験による Circulating Immune Complexes の測定	酒井 俊助・ほか…1611
浸潤性膀胱癌に対する Adjuvant 化学療法	竹内 信一・ほか…1619
芳香族レチノイン酸誘導体の単独およびマイトマイシンC併用投与	
によるラット膀胱腫瘍 <i>in vitro</i> 増殖抑制	藤田 潤・吉田 修…1627
腎癌による perirenal encysted hematoma の1例	篠田 育男・ほか…1633
肺癌切除術後2年目に発生した右骨盤腎盂癌の1例(英文)	章人・ほか…1641
膀胱内 Inverted Papilloma の2例(英文)	後藤 百万・ほか…1645
硬化性脂肪肉芽腫 (Sclerosing Lipogranuroma) の1例	光野 貫一・ほか…1651
尿膜管癌の4例	國芳 雅広・ほか…1655
精索脂肪腫の1例	島居 徹・ほか…1665
東札幌三樹会病院における臨床統計	
(第1報)1983年度外来新患統計	丹田 均・ほか…1671
東札幌三樹会病院における臨床統計	
(第2報)開設より5カ年間余の外来新患統計	
(1978. 11. 1~1983. 12. 31)	加藤 修爾・ほか…1677
男性不妊症に対する牛車腎気丸の効果	高山 秀則・ほか…1685
Enzymeimmunoassay法による	
前立腺性酸性フォスファターゼの検討	榊鏡 年清・ほか…1691
心因性インポテンス患者に対する Bromazepam の効果について	松橋 求・ほか…1697
前立腺癌治療における基調療法としてのホルモン剤と	
5-fluorouracil 併用長期継続投与の効果に関する臨床的研究	竹内 弘幸…1703
新しい注射用 Cephem 剤, Ceftazidime の泌尿器科領域疾患に	
対する長期投与の臨床成績と安全性の評価	鈴木 恵三・ほか…1711

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.
Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購読要項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料6,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
 2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文7頁(400字×28枚程度)図(Fig)10枚、表(Table)5枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (i) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名(山田または山田・ほか:)と、2語(例：前立腺がん・PSAP)からなるrunning titleおよび5語(英文)以内のkey wordsを付す。
 - (ii) 英文抄録：本文とは別に標題、著者名、所属機関名、抄録本文の順にダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C, pHなどとする。
 - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わずTable 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入すべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。とくに、著者校正時、表中の数字の訂正をされないように願います。様式については本誌の図・表を参照する。
 - (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。
(例：山田^{1,3,7)}, 田中ら^{1,3-10)}によると)
雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
 - (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
 - (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
 - (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

宮崎 重	新谷 浩
吉田 修(主 幹)	